

平成24年行政事業レビューシート

(厚生労働省)

事業名	給水装置工事主任技術者国家試験費		担当部局庁	健康局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成9年度		担当課室	水道課		水道課長 石飛 博之		
会計区分	一般会計		施策名	IV 4 2 安全で質が高く災害に強い水道を確保する。				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	水道法第25条の5第1項		関係する計画、通知等	「水道法の一部改正による給水装置工事事業者の指定制度等について」				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	規制緩和の方針に沿った平成8年の水道法改正により指定工事店制度が見直され、給水装置工事主任技術者の国家試験が創設された。本事業は、給水装置工事主任技術者の国家試験の合格者への免状の交付及び免状交付者に係る情報の記録等を実施することを目的とする。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	免状の交付及び免状交付者情報の記録							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求		
		当初予算	3	3	2	2	2	
		補正予算						
		繰越し等						
	計	3	3	2	2	2		
	執行額	1	1	2				
執行率(%)	33.3	33.3	100					
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	21年度	22年度	23年度	目標値 (毎年度)	
	免状発行件数/免状申請件数		成果実績	%	100	100	100	100
			達成度	%	100	100	100	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込	
	免状発行件数		活動実績 (当初見込み)	件	5,066 (7,150)	6,071 (7,150)	3,870 (7,150)	— (7,000)
			算出根拠		執行額/免状発行件数			
単位当たりコスト	421(円/件)							
平成24・25年度予算内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由				
	医師等国家試験費	2	2					
	計	2	2					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	安全で質の高い水道を確保するため、試験を維持することは広く国民のニーズがあり、優先度が高い。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	給水装置工事主任技術者の国家試験であるため、国が実施すべき事業である。
	—	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、費目・使途	×	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	一部、少額随契のため。
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	免状発行件数によるところがあるが、適正な執行を行い、単位当たりコスト削減に今後も努めることとする。
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	本事業を実施することで安全で質の高い水道が受益者(国民)に提供されることから、負担関係は妥当である。
	—	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	支出先・使途については、成果物の発注及び納品過程において十分に把握できている。
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	記録した免状交付者に係る情報は、次年度以降の再交付申請時等にも活用できるよう、管理の徹底がなされており、成果目標も達成していることから、実行性の高い手段といえる。
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上している。
	×	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	免状申請件数は毎年変動があるため予測は困難。
	—	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	—	※類似事業名とその所管部局・府省名	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	成果実績からみてその成果物は十分に活用されている。
点検結果	支出先・使途については、成果物の発注及び納品過程において十分に把握できている。本事業は、給水装置工事主任技術者の国家資格によって規制を全国統一のものとし、水道事業者の活動を円滑にする等、水道の給水装置工事の規制緩和に資する事業であり、試験を維持するために必要不可欠な事業である。		
予算監視・効率化チームの所見			
現状通り	給水装置工事主任技術者国家試験費については、水道法に基づく必要な事業であるが、事業の必要性及び執行の観点からは概ね妥当であり、引き続き効率的な執行に努めること。		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
現状通り	—		
補記 (過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	341	平成23年行政事業レビュー	309

厚生労働省 1.6百万円

給水装置工事主任技術者の国家試験の合格者への免状の交付及び免状交付者に係る情報の記録

【少額随契】

A. (独)国立印刷局 0.3百万円

給水装置工事主任技術者の国家試験の合格者の免状交付台帳、申請台帳、免状証の作成

【一般競入札】

B. センコービジネスサポート(株) 1.3百万円

給水装置工事主任技術者の国家試験の合格者への免状の交付及び免状交付者に係る情報の記録

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
行っているか
について補足
する) (単
位: 百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

A. (独)国立印刷局			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
印刷製本費等	免状交付台帳、申請台帳、免状証の作成	0.3			
計		0.3	計		0
B. センコービジネスサポート(株)			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
電算処理費等	データベース構築、免状印字	1.1			
人件費	外字作成、免状発送、有資格者データ作成	0.1			
その他	免状用厚紙、運送費等	0.1			
計		1.3	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.(独)国立印刷局

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(独)国立印刷局	免状交付台帳、申請台帳、免状証の作成	0.3	随意契約	
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B.センコービジネスサポート(株)

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	センコービジネスサポート(株)	給水装置工事主任技術者の国家試験の合格者への免状の交付及び免状交付者に係る情報の記録	1.3	3	73%
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					